

22年度 高砂市次世代育成支援後期行動計画に係る実績報告書

基本目標	主要課題	項目	22年度の取り組み実績	回数・人数等	担当課	
1 子育て家庭への支援	1 子育て相談の充実・情報機能の強化	家庭児童相談室	相談員2名を配置して、ケース検討会議、訪問調査指導、関係機関調整等を実施した。	・ケース検討会議36件 ・訪問調査指導51件・延べ 169件 ・関係機関調整133件・延べ 1,431件	児童福祉課 (子育て支援センター)	
		地域子育て支援拠点事業	地域の子育ての拠点として保育所、公民館を活用し、体験保育・すこやかグループを通して子育てサークルの育成を図り、子育て全般に関する支援を行うなど、地域の子育て支援機能の充実を図った。	・体験保育は4箇所の保育園で実施。 延べ 900人 ・すこやかグループ 親子59組 130人	児童福祉課 (子育て支援センター)	
		① スクールカウンセラーの配置	県配置校以外の6小学校に市単独でスクールカウンセラーを派遣し、児童及び保護者の相談に応じた。		学校教育課	
		適応指導教室の充実	適応指導教室(のびのび教室)において、不登校児童生徒の学校復帰・社会自立に向けた支援を行った。		学校教育課	
		相談体制の充実	少年相談として、広報「たかさご」に相談案内を掲載するなど相談業務の周知を図った。また、相談者に対しては、的確な指導助言に努めた。	18回 18人	青少年補導センター	
			電話相談や面談で、子どもや保護者の様々な問題や、悩み等について相談に応じた。		学校教育課	
		② 子育て支援ネットワークづくり	子育て支援センターを拠点として、子育てサークルや子育て関係機関との連携を図りながら、子育て支援ネットワーク活動の安定した継続を図った。	サークル 38団体 登録 860人	児童福祉課 (子育て支援センター)	
		子育て情報の提供	子育て支援センターにおいて、啓発情報誌「すこやか」「あそぼ」「子育てサークル紹介」「子育て応援情報」を発行した。	「すこやか」年3回 「あそぼ」年9回 「子育て応援情報」年1回発行	児童福祉課 (子育て支援センター)	
		2 子育てにかかる経済的負担の軽減	子ども手当の給付 ○ ◎	中学校3学年までの子育て家庭に手当を給付した。	受給者数 7,781人	児童福祉課
			就学援助の給付	小学校実人員(1036人)、中学校実人員(507人)	就学援助 小 1,004人、中 493人 特別支援教育 小 32人、中 14人	学務課
	乳幼児等医療費の助成		医療費の一部負担に対して助成を行った。	受給者数 7,679人	国保医療課	
	① 保育所保育料の軽減		保護者負担に配慮し、保育料の軽減及び減免措置を行った。	対象者53人	児童福祉課	
	幼稚園保育料の軽減		幼稚園保育料の減免を48人に実施した。	48人	学務課	
	学童保育所保育料の軽減		母子世帯などの低所得者層を支援し、保育料の減免補助を行った。	全額免除延べ 79人 半額減免延べ 18人	児童福祉課 (子育て支援センター)	
高等学校奨学金の給付	月額8,000円を148人に給付した。		148人、8,000円×1,651箇月	学務課		

22年度 高砂市次世代育成支援後期行動計画に係る実績報告書

基本目標	主要課題	項目	22年度の取り組み実績	回数・人数等	担当課	
1 子育て家庭への支援	3 育児不安の軽減と児童虐待発生予防の推進	① 子どものこころの安らかな発達の促進と育児不安の軽減 ●◎	母子保健推進委員等が未受診児家庭を訪問し受診勧奨を行った。また育児相談等に応じる体制をとった。	随時 267件	健康増進課	
			つどいの広場や、育児と遊びの訪問事業(遊びのキャラバン)を実施し、遊びの提供や子育てについて話し合える場を設け、孤立しがちな子育て家庭の育児不安の解消を図った。	つどいの広場 128回 延べ 4740人 遊びのキャラバン 31回 延べ 636人	児童福祉課 (子育て支援センター)	
		② 児童虐待防止ネットワークづくり	関係機関と密接な連携を図るとともに要保護児童対策地域協議会の効率的な運営を図った。	ケース検討会議 36回開催	児童福祉課 (子育て支援センター)	
			幼稚園、小・中学校の虐待相談窓口となり、関係機関との連絡・調整を行うとともに、ケース会議に参加した。		学校教育課	
			要保護児童対策会議に参加し、不登校・非行問題の解決に取り組んだ。 幼稚園、小・中学校の虐待相談窓口となり、関係機関との連絡・調整を行うとともに、虐待防止の予防的な啓発を行った。		学校教育課 健康増進課	
			要保護児童対策会議に参加し、不登校・非行問題の解決に取り組んだ。 幼稚園、小・中学校の虐待相談窓口となり、関係機関との連絡・調整を行うとともに、虐待防止の予防的な啓発を行った。	計画のみ。実績なし。	青少年補導センター	
			虐待防止のための県との連携強化	関係機関と密接な連携を図るとともに中央子ども家庭センターとの連携を図った。	実務者会 4回開催	児童福祉課 (子育て支援センター)
				虐待の恐れのある保護者に対する出頭要求、立ち入り調査等が必要な場合において、県知事又は児童相談所長への通知、県の行う検証作業への協力など、県と連携した取り組みの推進を行う。	計画のみ。実績なし。	青少年補導センター
		虐待の恐れのある場合は、児童相談所長への通知を行った。			学校教育課	
		要保護児童セーフティネットの強化 ○	児童虐待などの要保護児童及びその家庭を支援するために、市が積極的に関係機関と連携し、セーフティネットの強化を図った。	ケース検討会議 36回開催	児童福祉課 (子育て支援センター)	
③ 被虐待児童のケアと立ち直り支援	臨床心理士による子育て相談を実施した。	相談回数 24回 延べ 118人	児童福祉課 (子育て支援センター)			
4 人権尊重の	① 「児童の権利に関する条約」の啓発	内容を検討中。		児童福祉課		

22年度 高砂市次世代育成支援後期行動計画に係る実績報告書

基本目標	主要課題	項目	22年度の取り組み実績	回数・人数等	担当課
1 子育て家庭への支援	5 ひとり親家庭への支援体制の充実	① 相談活動	ひとり親家庭等への母子自立支援員による相談活動の充実を図った。	724件	児童福祉課
		児童扶養手当の給付 ○	ひとり親家庭等の生活支援・自立促進のため、手当の給付及び制度の啓発に努めた。また、制度改正により、支給対象が母子家庭等から、父子家庭にも拡大した。	受給資格者 912人	児童福祉課
		ひとり親家庭への支援サービス ○ ◎	ひとり親家庭の就業・自立に向けた総合的な支援として、母子自立支援員の増員及び、自立支援教育訓練給付金等の給付と、新たに自動車免許を取得する際の助成を行った。	・自立支援教育給付金 3人 ・自動車免許取得助成 2人	児童福祉課
			ハローワークと合同で「ひとり親就活応援会」と題して就職活動セミナーを実施した。	8月、2月 計2回実施	児童福祉課
		母子家庭等医療費の助成	医療費の一部負担に対して助成を行った。	受給者数 2,314人	国保医療課
		② 母子援護事業	保護の必要な母子を母子生活支援施設に措置し、児童の保護と母子の自立を支援した。	1件	児童福祉課
		母子・寡婦福祉法関連事業	修学資金など貸付制度の啓発に努めた。またひとり親家庭等の自立支援事業の啓発をした。		児童福祉課
		ひとり親家庭生活支援事業	ひとり親家庭等の各種手当等の啓発に努め、生活支援を図った。		児童福祉課
		母子家庭自立支援給付金	就業や仕事に役立つ経済的自立促進として、自立支援教育訓練給付や高等技能訓練促進費等の給付を行った。	・自立支援教育給付金 3人 ・入学支援修了一時金 4人 ・高等技能訓練促進費 12人 ・自動車免許取得助成 2人	児童福祉課
		2 子育て支援のコミュニティ整備	1 子育てを支える地域活動の育成	① 地域子育てネットワーク事業 ●	声かけ運動や見守り運動をととして、地域の支援体制の確立に取り組んだ。また、子育て意識の啓発・高揚を図ため支援フォーラムを実施した。
ファミリーサポートセンター事業の推進	市民に対して啓発活動を強化し、登録会員を増やして活動件数の増加を図った。				依頼会員 308人、提供会員 114人
② 安全・安心のまちづくりの推進	PTAや地域の団体と協力し、子どもの見守り活動を実施した。			42回 27,960人	青少年課
	PTAや地域の団体と協力し、子どもの見守り活動を実施した。			各校区で通年実施した。	生涯学習課
	地域に対して、防犯体制の啓発として、高砂市安全安心まちづくり市民大会の開催を行った。			市民大会参加者数600人	危機管理室
③ つどいの広場の活用 ○	乳幼児を持つ親子が気軽に集い交流する場を提供した。また、地域の公民館に出向き、つどいの広場を開催した。			つどいの広場 128回 延べ 4,740人	児童福祉課 (子育て支援センター)
	育児と遊びの訪問事業(遊びのキャラバン)として、就園前の子育て家庭を対象に、地域の自主サークルや親子の小グループの集まりに出向き、遊びの提供や子育てについて話し合える場を設け、孤立しがちな子育て家庭の育児不安の解消を図った。			遊びのキャラバン 31回 延べ 636人	児童福祉課 (子育て支援センター)
	おはなしルームを開設し、絵本やお話の読み聞かせを通して子育てを実践し、親子同士の交流を図った。	おはなしルーム 41回 延べ 1,326人	児童福祉課 (子育て支援センター)		

22年度 高砂市次世代育成支援後期行動計画に係る実績報告書

基本目標	主要課題	項目	22年度の取り組み実績	回数・人数等	担当課	
3 就労と子育ての両立支援	1 男女共同による子育ての推進	① 男女共同参画センター	女性カウンセラーによる「こころの相談」 女性弁護士による法律相談 情報誌「Cocot」の発行 中学生のためのデートDV防止講座の開催	700件 59件 Cocot第19号、2,000部 1校 230人	市民活動推進課 (男女共同参画センター)	
			男性の家事・育児への参加の促進	パパと子の料理教室、男性のための料理教室	延べ 20人	市民活動推進課 (男女共同参画センター)
			父親の育児への参加の促進 ○	父親の子育て意識の高揚を図るため、父親講座を開催した。	2回 104人	児童福祉課 (子育て支援センター)
		②	男女平等意識の高揚	道徳教育等により、男女平等意識の高揚を図った。 男女が共同で子育ての責任を持つことへの意識の醸成を図るため父親講座を開催。	2回 104人	児童福祉課 (子育て支援センター)
			子育て体験集の発行	子育てサークル体験の紹介集	1回 500部	児童福祉課 (子育て支援センター)
			児童福祉週間事業	市広報紙に掲載し、またポスターを掲示して啓発を行った。		児童福祉課
	2 子育てしやすい雇用環境の整備	①	育児休業制度の普及・促進 ◎	第2次たかさご男女共同参画プランの策定、労働関係パンフレットによる啓発を行った。		市民活動推進課 (男女共同参画センター)
				母子健康手帳配布時に育児休業制度の説明を行い、制度の活用を促した(希望者)	随時 60人	健康増進課
		②	職業能力開発と技術・資格取得の 機会の情報提供	労働関係パンフレットの配置、資格関連図書の貸し出しを行った。		市民活動推進課 (男女共同参画センター)
			再就職を希望する者に対する情報の 提供	女子高校生のための就職支援セミナーの実施した。 ハローワーク加古川(マザーズコーナー)と連携して就職情報の提供を行った。	・9人	市民活動推進課 (男女共同参画センター)
			働く場での母性保護や健康に関する 相談の充実	電話相談及び面接相談を随時行った。	随時 60人	健康増進課
		③	労働時間の短縮	ホームページ等で周知	ホームページ等で周知	産業振興課
			パートタイム、派遣労働者等の 労働条件の向上	ホームページ等で周知	ホームページ等で周知	産業振興課
			仕事と育児・家庭が両立できる 制度の確立	ホームページ等で周知	ホームページ等で周知	産業振興課
				ハローワーク加古川(マザーズコーナー)と連携して就職情報の提供を行った。		市民活動推進課 (男女共同参画センター)
			仕事と育児・家庭が両立しやすい 企業文化の普及	ホームページ等で周知 先駆的企業の情報提供を行った。		産業振興課 市民活動推進課 (男女共同参画センター)

22年度 高砂市次世代育成支援後期行動計画に係る実績報告書

基本目標	主要課題	項目	22年度の取り組み実績	回数・人数等	担当課		
3 ・就労と子育ての両立支援	3 ・多様な保育サービスの充実	①	乳児保育事業	入所希望者すべての受け入れに努めた。		児童福祉課	
			延長保育事業	民間保育園において、7時～19時までの延長保育を8園で、7時～20時までの延長保育を2園で実施した。		児童福祉課	
			一時預かり事業	民間保育園6園で一時預かりを必要とする児童の保育を行った。		児童福祉課	
			子育て家庭短期入所事業	制度の啓発を行い、利用促進を図った。	利用者数 6人 児童数 9人 述べ 35日	児童福祉課	
			休日保育事業	民間保育園1園で休日保育を実施した。		児童福祉課	
			病児・病後児保育事業	民間保育園1園で病後児保育を実施した。		児童福祉課	
		②	保育所の整備・機能の充実	○	荒井保育園の耐震補強工事とさつき保育園の移転改築を行った。		児童福祉課
				○	老朽化している美保里保育園施設整備に伴う事業費補助を行った。鉄骨2階建に全面改築を行った。		児童福祉課
				○	正蓮寺保育園が、平成23年度に認定こども園として開設するため、改築工事に伴う事業費補助を行った。		児童福祉課
			幼稚園・保育所の統廃合等の推進	○◎	少子化に伴う、幼保一体化、統廃合についての計画「幼稚園・保育所の統廃合等の推進方向」についての説明パンフレットを作成し配布した。	6,000部	児童福祉課
					さつき保育園・中筋幼稚園幼保一体化に向けての準備を行った。	幼保一体化施設の運営面の準備を行った	学校教育課 児童福祉課
					望ましい幼児教育推進委員会で方策等を協議した。	推進委員会5回 専門部会13回	学校教育課 児童福祉課
	保育士の資質の向上		年間研修計画に基づき各種研修を行った。		児童福祉課		
	保育サービスの向上		公立保育所に導入した苦情処理の仕組みを活用していき、第三者評価システムについては検討を行った。		児童福祉課		
	③	学童保育所の公立化		NPO法人高砂キッズ・スペースと協議した。		児童福祉課 (子育て支援センター)	
		学童保育所の環境整備	●	阿弥陀学童保育所の新築整備		児童福祉課 (子育て支援センター)	

22年度 高砂市次世代育成支援後期行動計画に係る実績報告書

基本目標	主要課題	項目	22年度の取り組み実績	回数・人数等	担当課	
4・健全育成に向けた教育の充実	1・家庭推進	① 子育て学習活動 ●◎	おはなしルームを開設し、絵本やお話の読み聞かせを通して子育てを実践し、親子同士の交流を図った。	おはなしルーム 41回 延べ 1,326人	児童福祉課 (子育て支援センター)	
		② 青少年仲間づくり事業	異年齢、世代間の交流を通じて、青少年の健全育成を図る。また児童の安全を守るため、見守り活動を実施した。	42回 27,960人	青少年課	
	2・生きる力を育む教育の推進	① 地域に開かれた幼稚園の推進事業	全園で2年保育を実施した			学校教育課
			幼稚園・家庭・地域との連携を進め、地域に根差した幼稚園教育を推進した。			学校教育課
		① 幼稚園・保育所の統廃合等の推進(再掲)	望ましい幼児教育推進委員会において、さつき保育園・中筋幼稚園幼保一体化施設の推進について協議した。			学校教育課
			望ましい幼児教育推進委員会で方策等を協議した。			児童福祉課
		保・幼・小の連携	就学前教育と小学校との円滑な接続のため、積極的な連携を図った。			児童福祉課
			就学前教育と小学校との円滑な接続のため、積極的な連携を図った。			学校教育課
		豊かな体験活動の推進	特別活動・総合的な学習の時間等において、環境体験学習、自然学校・トライやるウィーク等の体験活動を実施した。			学校教育課
		健全な心身を育てる教育の推進	道徳の時間や体験活動を通して、心の教育の充実を図った。			学校教育課
		② 豊かな教育環境の設備整備 ○	学校施設の必要な修繕を行い、教育環境の整備を図った。			教育総務課
			耐震補強工事の計画どおり執行した。			教育総務課
	阿弥陀小学校の移転改築工事が完了した。				教育総務課	
	太陽光発電設備工事が完了した。				教育総務課	
	小中学校各1校を学校図書拠点校とし、図書の充実に努めた。小学校各校の図書の充実に図った。				学務課	
	少子化問題の啓発	次世代育成支援行動計画地域協議会を開催し、少子化問題についても協議した。			児童福祉課	
	③	フィルタリング利用の普及啓発 ○◎	子どもが利用する携帯電話のフィルタリングについて、普及啓発に努めた。	11回 300人		青少年補導センター
		情報モラル教育の推進 ○◎	児童生徒の発達段階に応じ、情報を主体的に選択・活用できる能力や、情報社会に参画する態度等の育成を図った。			学校教育課

22年度 高砂市次世代育成支援後期行動計画に係る実績報告書

基本目標	主要課題	項目	22年度の取り組み実績	回数・人数等	担当課	
4 健全育成に向けた教育の充実	3 多様な体験・交流活動の推進	図書館事業	毎月、おはなし会、えほんのじかんを、またクリスマスのえほんのじかんを行い、子どもに本の楽しさを伝え、子どもの想像力を豊かにし、心の育成を図った。	・えほんのじかん等 13回 101人 ・おはなし会 12回 86人	図書館	
		みのり会館事業	図書室を子どもに開放し、書道教室(2教室)を実施、子どもの育成を図った。	図書室利用1,072人、書道教室82回	みのり会館	
		体育館スポーツ教室	小学生スポーツ教室 (柔道 29回 955人、陸上 32回 1558人、バレーホール 29回 418人、ラグビー 30回 1215人)	5月～3月 120回 4,146人	スポーツ振興課 (施設利用振興財団)	
		平和教育事業	広島・長崎原爆写真展を市民ギャラリー「あいぽっと」で開催し、平和の尊さや平和を守ることを推進した。	8月9日(月)～8月20日(金)	総務課	
		姉妹都市との交流事業	海外姉妹都市交流事業として親善大使派遣。 姉妹都市締結10周年記念式典への出席	5人 4人	市民活動推進課 (国際交流)	
		エコ教室事業	市内小学校において、エコ教室を実施した。	486人が受講	環境政策課	
		青少年仲間づくり事業(再掲)	子ども会との共催により、他校区、異年齢とのふれあい活動を実施した。	20回 1715人	青少年課	
		① インターンシップの受け入れ	就業体験を通じ専門分野における知識、技術、業務に触れ実務能力を深め新たな学習意欲を高めるため、「勤労体験」「職業体験」活動の場として高校生の受け入れを実施した。	2人 各5日ずつ	人事課	
		高齢者との交流事業	特別活動、総合的な学習の時間、生活科の時間等に交流活動を行った。		学校教育課	
		歴史体験の充実	小学生の親子を対象に、「まがたま作り」、竜山石を使った「自由研究・石割体験」など体験講座を実施した。また、教員対象の講習会を実施し、各学校に資料貸出をした。	夏休みをを利用し、歴史体験教室を実施した。参加者は延べ 120人	生涯学習課	
		環境教育	小学3年生で環境体験学習を行った。		学校教育課	
		乳幼児とのふれあい体験の推進	トライやる・ウィーク等の機会を利用し、ふれあい体験を行った。		学校教育課	
			高校生と園児との体験交流を保育園で行った。中学生のトライやる・ウィークを保育園で受け入れ、ふれあい体験を行った。		児童福祉課	
		子どもたちの見守り活動と世代間交流事業	青少年健全育成連絡協議会が主体となり、色々な世代の人と交流できるように、各小学校校区ごとに夏祭りやとんど等のイベントを実施した。	31回 2,162人	青少年課	
		②	子ども会活動への助成	子ども会活動の運営活動費を助成した。	20回 1,715人	青少年課
			児童健全育成活動自主サークルへの支援 ○◎	子育て支援センターの活動場所の提供、出前講座の開催。	31回 636人	児童福祉課 (子育て支援センター)
				まちの子育て広場の備品購入や消耗品などの経費の一部を助成した。	30団体	児童福祉課 (子育て支援センター)
	4 地域社会と家庭の連携	① 学校施設の活用	学校運営上、支障がない限り地域住民や子ども達の交流促進の場として、運動場、体育館を提供した。		教育総務課	
		② 開かれた学校づくりの推進	オープンスクールを実施し、保護者や地域住民に園・学校を開いた。		学校教育課	
			学校等を利用して「放課後子ども教室」を実施した。	1校あたり学習教室 10回、 体験教室 30回程度実施した。	生涯学習課	

22年度 高砂市次世代育成支援後期行動計画に係る実績報告書

基本目標	主要課題	項目	22年度の取り組み実績	回数・人数等	担当課	
5・地域での生活環境の整備	1・子どもまちづくり子育ての推進に配慮した	公園・緑地の整備	公園・緑地の施設の修理を行った。		建設課	
		自然とふれあえる環境の整備	市ノ池公園でのバーベキューサイトを開放し親子の交流を図った。	年間	建設課	
			鹿島・扇平自然公園にて、子どもが自然とふれあえる場を整備した。		産業振興課	
		①	遊び場の充実	公園の管理委託を行った。	年間	建設課
		乳幼児に配慮した事業の実施	授乳コーナー等の設置を啓発した。		児童福祉課	
			講座等への一時保育のため保育士の派遣	延べ 26人	市民活動推進課 (男女共同参画センター)	
		②	土地区画整理助成事業	良好な宅地供給・住環境をめざす、組合施行区画整理事業に助成する。	計画のみ。実績なし。	建設課
			福祉のまちづくり事業	福祉のまちづくり事業としては予算化はしていないが歩道、公園の安全対策を行った。		建設課
	2・子どもの安全の確保	①	防犯体制の充実	ネットランチャーを配付するとともに、教職員を対象に不審者対応訓練を実施した。		学校教育課
				ネットランチャー等を配付するとともに、教職員を対象に不審者対応訓練を実施した。 公用車によるパトロール、下校時の見守り放送を実施した。 不審者情報メールを配信した。	1回 365回 28回	青少年補導センター
				保育所職員に不審者対策の研修や訓練を実施し、園児への安全教育を充実した。		児童福祉課
				自治会活動を通して地域の防犯体制の充実など、環境づくりを推進するための啓発を図った。	1回	市民活動推進課
				青色防犯パトロールを実施した。	243日、9,530km	危機管理室
				●◎ 保育所等緊急通報システム推進事業として、緊急時に保護者への情報発信をスムーズに行い、園児の安全安心の子育て支援を行った。	保育園9園、高砂児童学園	児童福祉課
●◎ 幼稚園に緊急通報システムを設置し、園からの情報発信に関する環境整備を行った。				幼稚園10園	教育総務課	
防犯灯の設置	地域住民の意見を聴きながら、暗い通りや見通しのきかないところへの防犯灯を設置した。		建設課			

22年度 高砂市次世代育成支援後期行動計画に係る実績報告書

基本目標	主要課題	項目	22年度の取り組み実績	回数・人数等	担当課
5・地域での生活環境の整備	2・子どもの確保	② 交通安全教室	保育所・幼稚園29園、小学校10校、中学校6校、高校2校、等を対象に交通安全教育を行った。	57回、5,864人	管理課(まちづくり)
		交通安全の普及・啓発事業	子どもの安全を守るため、チャイルドシートの啓発を行った。また、保育所・幼稚園出入口の飛び出し防止シールの老朽箇所を張替えた。		管理課(まちづくり)
		道路の整備	沖浜平津線(小松原工区)、米田79号線の道路改良及び阿弥陀小学校周辺の道路整備により歩行空間の整備を実施した。		建設課
6・安心して生み育てることができる環境の整備	1・母子保健医療体制の充実	① 子どもの事故防止に関する普及・啓発	家庭内や屋外で起こりうる子どもの事故防止について、対策・防止方法などの普及・啓発に努めた。		児童福祉課
		乳児保健相談、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査	乳児・1歳6か月児・3歳児健診を毎月行った。内容は身体計測、小児科医師・歯科医師の診察、保健師・栄養士・歯科衛生士等による育児相談を実施した。	・乳児12回 768人 ・1歳6か月児健診 12回 785人 ・3歳児健診 12回 766人	健康増進課
		子どものこころの相談	1歳6か月児健診・3歳児健診時に、心理相談員が保育者の育児不安についての相談を個別に対応した。	・1歳6か月児健診 12回 54件 ・3歳児健診12回 56件	健康増進課
		養育支援家庭訪問事業	妊産婦等訪問指導として、妊婦及び産婦の家庭訪問を行い、健康状態の把握、適切な保健指導を行った。また状況に応じて関係機関と連携を取り、支援を行った。	妊婦訪問指導 随時 374人	健康増進課
			新生児等訪問指導として、母親及び新生児の健康状態を把握し、適切な保健指導を行った。また状況に応じて関係機関と連携を取り、支援を行った。	新生児等訪問指導 随時 253人	健康増進課
		① 育児の不安解消、発達に不安のある乳幼児を持つ保護者への育児支援の充実	毎月1回、妊婦・1歳までの乳児の親を対象に、母親同士の交流の場づくりやテーマを決めて健康教育の実施し、また保健師・助産師・歯科衛生士・栄養士等の専門職による各種個別相談を行い育児支援の充実を図った。	ひだまりサロン12回 797人	健康増進課
			1歳6か月児健診等で、ことばの遅れや対人関係がうまく取れない等のこどもや、育児不安の強い母親に対して、あそびを通してこどものかかわり方等を支援し、集団遊び・個別相談・保育所等との連携を実施した。	おかあさんの育児教室12回 495人	健康増進課
			3歳児健診等で、ことばの遅れや対人関係がうまく取れない等のこどもや、育児不安の強い母親に対して、あそびを通してこどものかかわり方等を支援し、集団遊び・個別相談・保育所等との連携を実施した。	きらりんクラブ 12回 323人	健康増進課
		乳幼児相談(電話・面接・家庭訪問)	保健師等が電話及び面接、家庭訪問により相談を行った。	随時	健康増進課
		妊婦・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援	養育支援ネットを推進し、医療・保健・福祉の連携強化を図り、早期支援を目指した。		健康増進課
妊婦健康診査費助成事業	妊婦健診に係る費用の一部を助成した。	随時 887人	健康増進課		
こんには赤ちゃん訪問事業	生後4か月未満の赤ちゃんのいる家庭に訪問スタッフ(母子保健推進員など)が子育てに役立つ情報誌と予防接種手帳を持って訪問する事業を、平成21年度より実施。	随時 591人	健康増進課		

22年度 高砂市次世代育成支援後期行動計画に係る実績報告書

基本目標	主要課題	項目	22年度の取り組み実績	回数・人数等	担当課	
6・安心して生み育てることができる環境の整備	2・地域医療体制の整備	①	小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備	事故防止の健康教育の実施と「子どもの急病対応ガイドブック」の配布により急病時の対応を啓発した。		健康増進課
			かかりつけ医の体制整備	乳幼児健診、ひだまりサロン等で啓発を行った。		健康増進課
		②	一次救急医療	夜間急病センター、休日・祝日等の救急医療体制の推進を医師会等の協力を得て推進した。		健康増進課
			二次救急医療	小児科二次救急医療体制について関係機関と調整及び連携を図った。		健康増進課
	3・思春期保健対策の充実	①	思春期の児童に対する保健、健康教育 ○ ◎	禁煙のポスターの掲示等、禁煙フォーラム開催の協力をした		健康増進課
				保健の時間を活用し、性教育やたばこの害などの健康教育を実施した。		学校教育課
				次世代の親育成事業として中学生を対象に性教育や薬物乱用防止教室等を行った。	6中学校実施	学校教育課
		②	スクールカウンセラーの配置(再掲)	県配置校以外の6小学校に市単独でスクールカウンセラーを派遣し、児童及び保護者の相談に応じた。		学校教育課
	4・食育の推進	①	食生活に関する知識の普及・啓発	離乳食の初・中期と後期・完了期の学習及び調理実習を行った。参加者には仲間作りができるよう配慮した。	もぐもぐの会 6回 81人	健康増進課
				親子で調理実習をすることで、「食」への関心をたかめ、食育について学ぶ機会とした。	とんとんコトコトの会 4回 62人	健康増進課
		②	食を通じた豊かな人間性の形成 ● ◎	地産地消を学校給食に取り入れた。食に関する教育研究会において栄養教諭がT・Tで授業を実施した。	10小学校	学務課
				食育全体計画をもとに、給食指導、家庭科及び特別活動の学習を通じて、食育の推進を図った。		学校教育課
給食を充実させることにより、園児・児童の心身の健全な発育を促した。また、地産地消に取り組み、旬の食材を給食に用い保護者にも啓発した。園内などで野菜栽培を行い、収穫の喜びを通じた食育を行った。					児童福祉課	
食育出前事業(食育キャラバン)として、就学前児童及びその保護者を対象に、各公立保育所を巡回し、食に関する知識の提供や地域子育てグループの食体験など出前講座を実施し、様々な体験を通じて食への関心を高めた。				30回、545人	児童福祉課	

22年度 高砂市次世代育成支援後期行動計画に係る実績報告書

基本目標	主要課題	項目	22年度の取り組み実績	回数・人数等	担当課	
6・安心して生み育てることができる環境の整備	5・障がいがある子どもとその親への支援体制の充実	① 療育相談	乳幼児等のからだ・こころ・ことばの相談を毎月2回実施。小児科医の診察及び助言、保健相談・栄養相談・心理相談・理学療法相談等を継続することにより、母親の育児を支援した。	24回 348人	健康増進課	
			○ ◎ 発達障がい等の相談窓口の啓発パンフレット「お子さんの気になること誰に相談していますか」を作成し、相談につなげるきっかけづくりとした。	7,000部	児童福祉課	
			○ ◎ 発達支援サポーター養成講座を開催した。	9回 348人	児童福祉課	
			ことばや発達の面で、気がかりなところのある子どもの療育相談を昨年に引き続き実施した。	・親子教室 15回 325人 ・ミーサポ ^{ート} 電話 81件、 来園相談 121人	児童福祉課	
			障がい者相談支援事業の一環として相談に対応した。	60回、延べ 40人	高年・障害福祉課	
			○ ◎ 幼稚園・保育所に通う5歳児の保護者に子どもの発達状況のアンケートを行った。	保育園、幼稚園の5歳児 869人	児童福祉課	
		特別支援教育	加配保育士や介助員を配置し、発達段階に応じた指導の充実を図った。		児童福祉課	
			特別支援教育についての研修会を実施し、一人一人に応じた、指導の充実を図った。		学校教育課	
			障がいのある子どもが利用しやすい設備や施設の充実を図った。		教育総務課	
		言語発達相談事業	言語発達相談利用者に補助金を交付した。	延べ 122人	高年・障害福祉課	
		②	知的障害児通園施設(高砂児童学園)	施設の機能の充実を図った。		児童福祉課
			心身障害児生活訓練指導事業	理学療法士による児童学園に通園する心身障害児に対する生活訓練指導を行った。	11回 69人	児童福祉課 (子育て支援センター)
			ホームヘルプサービス	居宅介護サービス費を給付した。(人数は者を含む。)	延べ 685人	高年・障害福祉課
			デイサービス	障がい児デイサービス費を給付した。	延べ 30人	高年・障害福祉課
			ショートステイ	短期入所費を給付した。(人数は者を含む。)	延べ 251人	高年・障害福祉課
			サマーデイ事業	障がい児を対象に、夏休みの生活でのデイサービスを実施した。	延べ 99人	高年・障害福祉課

22年度 高砂市次世代育成支援後期行動計画に係る実績報告書

基本目標	主要課題	項目	22年度の取り組み実績	回数・人数等	担当課	
6 ・安心して生み育てる環境の整備	5 ・障がいがある子どもの体制の充実とその親への支援	③ 療育会議	療育会議の企画及び実施をした。	平成23年1月28日開催	高年・障害福祉課	
			療育会議に参加し、他課との連携を図った。		健康増進課	
			療育会議に参加し、他課との連携を図った。		学校教育課	
			療育会議に参加し、他課との連携を図った。		児童福祉課	
		④	特別児童扶養手当の給付	制度の啓発に努めた。	受給資格者 216人	児童福祉課
			障害児各種手当の給付	障害児福祉手当を支給した。	延べ 681人	高年・障害福祉課
			障害者医療費の助成	医療費の一部負担に対して助成を行った。	助成件数20,775件 受給者数 965人 (障害者医療制度全体)	国保医療課
			介護用器具の助成 (日常生活用具)	障害者に係る日常生活用具を給付した。(人数は者を含む。)	延べ 414人	高年・障害福祉課